

農業するなら...

北海道

きたみ
北見市

くねっぷ
訓子府町

おけと
置戸町

突りを夢みて ここに根を張る。



北見市・訓子府町・置戸町で
農業を始めるあなたを、
JAきたみらいがサポートします。



農業体験するなら、新規就農を目指すなら

理由
その1

きたみ
北見市

くねつぶ
訓子府町

おけと
置戸町

がいい!



北見市（常呂地区を除く）・訓子府町・置戸町を管轄するJAきたみらいの農畜産物の生産量・販売高は全道でもトップクラス。
たまねぎ、じゃがいもを中心に、様々な品目を生産しています。

オホーツク地域で本格的な農業ができる、農業大国北海道の中でも有数の農業地帯、



理由
その2



アクセスがいい! 空港や商業施設への

オホーツク地方は豊かな自然に囲まれています。北見市には商業施設や量販店がありますし、もちろん食料品や生活雑貨は置戸町・訓子府町内でも入手できます。

女満別空港へは1時間圏内で、東京(羽田)へは一日5往復運航しています。

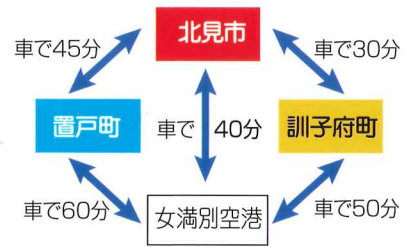
オホーツクの中核都市



■ 女満別空港発着便

- 東京便(羽田) 5往復 約1時間45分
- 札幌便(新千歳) 6往復 約45分
- 名古屋便(中部) 1往復 約2時間5分
- 夏季のみ運行 大阪便(関西) 1往復 約2時間25分

羽田空港から女満別空港まで約1時間45分、空港から約40分で北見市に到着します。



理由 その3

就農相談



新規就農や農業関連への就労など、希望内容に応じた相談を、行政(北見市、訓子府町、置戸町)・JAきたみらいが行います。



農業を肌で感じてもらうため、1週間程度の農業体験を行います。



体験場所までの移動費はJAが負担いたします。
また宿泊先や食事など体験期間中はすべてJAが対応いたしますので、安心してお越しください。

※女満別空港やJR北見駅等までの片道交通費は自己負担となります。



農業体験
1週間程度の
体験学習



酪農のみ
酪農研修

酪農ヘルパー(組合)

酪農家の休日に、酪農家に代わって搾乳や飼養管理などの作業を行う仕事
給与・賞与
各種手当(家族、住宅、交通費他)



ヘルパー実務研修

ヘルパー作業を通じて酪農技術取得

酪農ヘルパー(組合)で働きながら、酪農作業の基礎と、地域農業を学びます。

市・町からの支援と
JAのサポートで安心して研修ができる

研修支援

北見市	国	訓子府町
	*農業次世代人材投資事業 【準備型】の活用	
	150万円/年 (最長2年間)	
置戸町	JAきたみらい	
就農予定者就農研修支援 *借入金(償還免除有り) 10万円/月(配偶者有り) 5万円/月(単身者) 【最長2年】		生活関連支援 5万円/月【最長2年】

就農研修

経営の継承と
地域農業者との
交流



就農開始



経営開始に向けた
サポート体制

始支援

北見市

- 新規参入
就農支援
6.25万円/月【24ヵ月】
- 経営開始
農地借上料支援
借上料の1/2又は20万円/年を
上限【最長5年】
- 経営開始
農業施設借上料支援
借上料の1/2又は20万円/年を
上限【最長5年】

訓子府町

- 入植祝金
50万円/年【2年間】
- 運転資金支援
5万円/月【24ヵ月】
- 農地賃借助成
賃借料1/2【最長5年】
- 農用地等取得資金
借入利子助成
金利1/2【最長5年】
- その他
・新築住宅建設助成
・中古住宅購入助成
・宅地購入助成
・住宅賃借料助成

置戸町

- 経営自立安定補助金
各種制度資金借入への助成
借入額の1/5(上限500万円)
- 制度資金借入
利子助成(利子補給)
借入利息の1/2
(対象借入上限5,000万円)
【最長10年間】
- 農地取得(保有合理化)
賃借料助成
賃借料の1/3【最長5年】
- 農業施設・機械・乳牛取得
(農場リース)リース料助成
リース料の1/3【最長5年】
- 固定資産税相当額助成
賦課年度から最長3年

JAきたみらい

- 生活関連支援
5万円/月【24ヵ月】
- 農地保有合理化事業等
借上料支援
借上料1/2 又は
10万円/年の低い額【最長5年】
- 農場リース事業等借上料支援
借上料1/2 又は
10万円/年の低い額【最長5年】
- その他
・クミカン貸越利息軽減
・営農賦課金支援
・正組合員出資持分特例
・営農貯金積立緩和

*農業次世代人材投資事業【経営開始型】の活用 国 150万円/年(最長5年間)

農業に興味が出てきたら...?

まずは

「農業体験」に来てみて!

受入農家の指導のもと、実際の農作業が体験できます
(時期によって作業内容は異なります)

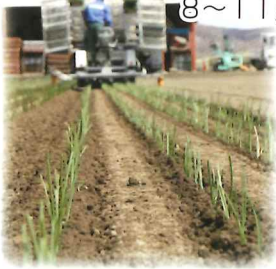
畑作 (玉ねぎ・馬鈴しょなど)

作業の一例

酪農

- 2~3月 育苗・ハウスの管理、種の準備
- 4~5月 種まき、苗の植え付け
- 6~7月 農薬散布、除草などの栽培管理
- 8~11月 収穫・選別

- 搾乳、仔牛の哺乳、牛舎の清掃、餌やりなど(通年)、飼料用作物の栽培



新規就農者の声

北見市の伊藤さんの場合

就農までの流れ

※受入先の状況等により
研修期間は異なります

- H28年5月 農業体験
- H29年2月 研修開始
- H31年2月 経営開始



なぜ就農することを希望しましたか?

今までの仕事は昼夜3交代制だったので、家族と過ごす時間が少なく、もっと子どもたちと一緒に食事をした、好きな仕事をしている姿を見せたいと思っていました。家族経営の農業ならそれが叶うのではないかと、興味を持ちました。

農業体験をしてみてどうでしたか?

今までに感じたことのないようなやりがいを感じましたし、農業と向き合っていきたいという覚悟が生まれました。

今後の抱負&農業を始める皆さんへのメッセージ

何も知らない状態から始まりましたが、指導農家である親方を始め、地域の皆さんや関係各所の支えがあったことで、経験を積んで少しずつ自信がついてきました。まだ不安なことも多いですが、この土地で立派な農業者になれるよう、努力していきたいと思っています。そして、地域に僕たちと同じような仲間が増えることを期待しています。

みなさんも農業を始めませんか??